

有名な発明者は誰ですか？

マルチ三重
ダイバーシティ社会推進課
多文化共生班

NO.07

2025 年 9 月 29 日

月曜日



ブラジルの航空の先駆者サントス・ドゥモン、世界初の動力飛行に挑む

ブラジルの発明者といえば、アルベルト・サントス・ドゥモンが有名です。ブラジルのミナス・ジェライス州出身の航空の先駆者であり、飛行機の発明と開発に大きく貢献した人物として世界的に知られています。1906年10月23日、フランス・パリ近郊で、自ら設計した飛行機「14 bis (キャトルズ・ビス)」で地上から自力で離陸し、約60メートルの飛行に成功しました。これが「公開の場で成功した世界初の動力飛行」とされています。飛行機の発明には世界中で多くの人物が関わっており、サントス・ドゥモンはその中でも重要な一人です。また、サントス・ドゥモンは腕時計の発明者でもあり、様々な分野で才能と能力を備えている人でした。リオで行われた五輪の開会式でも、サントスさんが「14 bis」飛行機を製作する様子が俳優によって演じられました。



ベトナム出身フン教授 革新的な車椅子を発明

グエン・タン・フン教授はベトナム出身で、現在オーストラリアで働いている発明者です。医療技術や神経学の分野で多くの革新的な研究を行っています。特に有名なのは、「Aviator」という思考で操作できるスマート車椅子の発明です。この車椅子は、ユーザーの頭の動きや脳波を利用して自動で移動できるため、体に障害を持つ人々がより自立した生活を送ることを可能にします。

フン教授がこの研究に取り組んだきっかけは、2005年に息子が事故に遭い、麻痺がのこる可能性があったことです。息子のリハビリを通して、障害者の生活を支援する技術の必要性を痛感し、自らの知識を生かして開発に取り組みました。「Aviator」は、オーストラリアの経済・イノベーション誌「Antihill」により2011年の100大発明の第3位に選ばれました。



意見募集中！

あなたの声が、次回のニュースレターで紹介されるかもしれません。お気軽にご参加ください。



有名な発明者は誰ですか？

マルチ三重
ダイバーシティ社会推進課
多文化班

NO.07

2025 年 9 月 29 日

月曜日



伝統の知恵と現代科学で成功

中国の屠呦呦さん ノーベル賞受賞

1982年、屠呦呦（とようよう）さんはアルテミシニンを発明しました。アルテミシニンは、マラリアの治療に非常に効果的な薬です。

屠さんは、中国の漢方薬の医書からヒントを得ました。そこには「青蒿（せいこう）」が記されていました。

屠さんは数多くの文献を調べ、さまざまな抽出方法を試みました。最初の実験は失敗しましたが、あきらめずに研究を続け、低い温度で取り出す方法でアルテミシニンを取ることに成功しました。この成分はマラリアの治療に大きな効果を示しました。

屠さんの成果は、医学における大きな進歩であると同時に、伝統的な知識と現代科学を結びつけることの大切さを示すものでもあります。2015年、屠さんは青蒿素の研究によりノーベル生理学・医学賞を受賞しました。

ブラックボックス発明者ウォーレンの物語

飛行機事故から命を守る！



オーストラリアの科学者デイヴィッド・ウォーレンは、世界の航空安全に大きな貢献をした人物です。彼は飛行機事故の原因を解明するために、「ブラックボックス」（現在のフライトレコーダー（FDR）を発明しました。発想のきっかけは、父を航空事故で亡くした経験があり、航空安全を何とか改善したいと考えました。ウォーレンは「飛行中の会話や飛行機の情報を記録できれば、事故原因を特定できる」と考え、試作品を完成させました。最初は航空業界からウォーレンの発明をなかなか認められませんでした。現在、ブラックボックスは全世界の航空機に設置され、事故防止や安全性向上に大きな存在となっています。実は、現在のブラックボックスの色は黒ではなく、事故発生した時に発見しやすいように明るいオレンジ色をしています。ウォーレンの発明は、数え切れないほどの命を守り続けているのです。